

# 1. 平成29年度事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

## 【企画運営活動】

### 1. 第34回社員総会

平成29年5月26日、大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1丁目8番4号)において開催した。代議員総数147名のうち、127名(内20名出席、委任状107名)が出席し、代議員の過半数である定足数を満した。第34回社員総会は成立したことを確認した後、次の議案を審議し、満場一致で承認決議を行った。

- (1)平成28年度事業報告承認の件
- (2)平成28年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- (3)役員選任の件
- (4)その他

報告事項1.平成29年度事業計画書報告の件、報告事項2.平成29年度収支予算報告の件、報告事項3.新終身会員報告の件

### 2. 理事会(4月28日、5月26日、8月28日、12月13日、3月28日)

本会の意思決定機関として、本会の事業活動を担っている事業企画委員会、会誌委員会、各種委員会、特別委員会等の活動状況の報告をうけ、定款によって定められた審議事項並びに会全体の運営に係わる事項及び公益支出計画実施報告書について審議・決定した。

### 3. 委員会

会長の諮問に答え、また委員会規程に基づき各種の業務執行にあたる。平成29年度は下記14の委員会および監査会を開催した。

#### (1)会員増強委員会(1回)(9/1)

委員会では化学、化学工業関連分野はもとより会に有用な会員獲得のための勧誘活動方法等を審議して理事会に提案した。

#### (2)財務委員会(3回)(7/21、9/21、1/30)

本会の予算案の編成並びに経理と財務を掌理し、長期的財政の安定を図るために委員会を3回開催し、本年度の予算の執行、次年度の予算について審議した。

#### (3)事業企画委員会(6回)(4/19、6/14、8/25、10/18、12/14、1/31)

本会の目的達成に必要な事業の企画・実施するために委員会を6回開催した。

#### (4)会誌委員会(12回)

(4/10、5/2、6/2、7/7、8/4、9/4、10/6、11/6、12/1、1/5、2/9、3/5)

会誌の編集、刊行を掌理するために編集委員会を12回開催した。

#### (5)技術賞委員会

化学技術賞審査委員会(1回)(3/13)、技術賞委員会(2回)(8/21、12/5)

表彰規定に基づき化学技術賞授賞者及び環境技術賞授賞者の選考を行う為に技術賞委員会2回と審査委員会を1回開催し、平成29年度の授賞者を選定した。

#### (6)人事委員会(2回)(8/3、2/13)

平成29年度は事務局職員人事・給与及び契約職員の時給等について審議し、理事会へ提案した。

#### (7)合同事務局運営委員会(2回)(6/15、8/30)

一般財団法人大阪科学技術センタービル608号室に同居する化学系の学術5法人の運営に関する事項について1回の委員会を開催し、部屋代・人件費・社会保険料・事務局運営経費等の分担経費を決定した。

#### (8)研究部門委員会(1回)(3/26)

専門部会の運営、改廃を掌理し、また本会の目的のための必要な部会・研究会の設置について審議するため委員会を1回行った。

(9) 国際交流委員会（1回）（5/17）

交流協定書を締結している韓国工業化学会の行事内容及び上海化学産官学交流会・上海サロンの内容などを本会機関誌および連絡拠点を通じて大学、企業に周知して参加を促した。また、より広い地域との交流事業企画について審議し理事会へ提案した。

(10) 女性委員会（1回）（7/31）

本会が広く女性化学者の集う場となるべく、具体的な事業の企画立案を行った。

(11) 情報化委員会（4回）（4/14、5/12、8/30、11/28）

本会の効率的・効果的運営に必要な情報化社会システムの活用について企画、推進した。

(12) 100周年記念事業実行委員会（2回）（6/1、3/15）

式典企画部門、出版・記念物企画部門、男女協働部門などの各部門委員会を適宜開催するとともに、全体の実行委員会を2回開催し、100周年記念事業の企画について審議し理事会へ提案した。

(13) 代議員選挙管理委員会（2回）（5/2、3/5）

平成30年4月1日就任の代議員選挙実施に伴い理事会及び代議員候補者選考委員会から独立した委員によって選挙管理を行った。

(14) 代議員候補者選考委員会（2回）（8/25、12/6）

平成30年4月1日就任の代議員選挙実施に伴い理事会及び代議員選挙管理委員会から独立した委員によって代議員候補者の選考を行った。

(15) 監査会（1回）（4/26）

定款第25条に掲げる監事の業務を執行する為に①理事会に出席、②監査会を1回開催した。

**【国際研究集会・国際交流事業】**（公益目的事業1）

多くの日本の研究者及び化学系企業が進出している海外の下記拠点において大学・研究機関・企業の技術者を対象とした技術交流会（学術講演会・見学会）を開催し、学術研究や異種産業技術間の連携・交流の場を提供する。会員・非会員に関係なく広範に参加を募り、我が国科学技術の振興と社会経済の発展に貢献することを目的とする。

1. 韓国工業化学会との交流

平成29年度は情報交換および化学啓発行事である韓国化学工業会の年次大会の内容などを本会の会誌および韓国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

2. 韓国蔚山工業誘致協会(精密化学品工業センター)との交流

上記同様年次大会の内容などを本会の会誌および韓国蔚山工業誘致協会の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。

3. 日中化学産官学交流

第11回上海化学産官学交流会（10月27日を予定）及び上海サロン（10月27日を予定）の内容などを本会の会誌および中国の連絡拠点を通じて大学及び企業に周知して参加を促した。但し、中国側の都合により直前に中止となった。

**【優れた研究業績の顕彰事業】**（公益目的事業2）

化学工業振興の見地より若い研究者および技術者の優れた業績を発掘するとともに、化学技術の発展に向けての更なる貢献を期待し、その業績をたたえ激励することを目的として、化学技術賞・環境技術賞を設けて顕彰を行う。

1. 平成28年度第69回化学技術賞授賞者6件・21名並びに第17回環境技術賞授賞者1件・5名を第34回社員総会の席上にて表彰した。

定款及び表彰規定に基づき、化学技術賞審査委員会にて選定された技術者の表彰を行った。

## 2. 平成29年度第70回化学技術賞並びに第18回環境技術賞の審査、選定を行った。(3月13日)

### 第70回「化学技術賞」

平成29年度内における化学に関連する研究・技術で、工業化したもの、工業化するもの、工業化への寄与が著しいもので、特に顕著な業績のあった者を、本会の定款及び表彰規定に基づき、第70回「化学技術賞」授賞者として、4件・10名を選定した。

### 第18回「環境技術賞」

平成29年度内における化学に関連する研究・技術で、地球環境との共存並びにその維持・改善を積極的に意識し、方向付けがなされた新技術・改良技術で、特に顕著な業績のあった者を、本会の定款及び表彰規定に基づき、第18回「環境技術賞」授賞者として、3件・4名を選定した。

## 【人材育成のための研修事業及び能力開発事業】(公益目的事業3)

### 1. 研修塾

#### 第39期(塾生25名)

会員企業より選抜された30歳代の技術者、研究者を対象に1年を通じて人格並びに人脈形成を図った。明日の産業界を担う次代の人材育成を主旨に、自らに討議主題を課すと共に自らの頭で考える力を涵養し、また、第一線でご活躍の講師を招いて、その人間性や思想に触れる中でお互いに研鑽し、資質を磨き、人脈並びに人格形成を図るために本講座6回、自主講座6回を開催した。

#### 第1回・4月8日・大阪科学技術センター

##### ①塾頭、副塾頭挨拶

##### ②自己紹介

##### ③塾頭講話「研修塾 建塾の精神を語る～きんか玉条」

学校法人常翔学園 大阪工業大学工学部応用化学科 教授、常翔歴史館 館長 益山 新樹氏

##### ④副塾頭講話「研究の色とかたち」 大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松本 章一氏

##### ⑤副塾頭講話「日本語のルーツ」 京都大学名誉教授 梶 慶輔氏

#### 第2回・6月3日・大阪科学技術センター

##### ①「技術者倫理を考える」 中村 収三氏

##### ②事例研究とグループディスカッション

#### 第3回・8月5日・大阪科学技術センター

##### ①「再生医療の研究」 京都大学名誉教授 筏 義人氏

##### ②「雷放電を電波で観る」 大阪大学名誉教授 河崎善一郎氏

#### 第4回・10月7日・大阪科学技術センター

##### ①「カントとキラリティー」 豊田工業大学文系アドバイザー、京都大学名誉教授 小川 侃氏

##### ②「えほん作りのアトリエから / 実践! Greeting Card 作り」 絵本作家 小西 英子氏

#### 第5回・12月2日・大阪科学技術センター

##### ①「南極環境の化学調査と科学 -南極を夢見て-

大阪府立大学人間社会システム科学研究科 教授 竹中 規訓氏

##### ②「古代エジプト遺跡を接着技術がまもる」 大阪工業大学 教授 中村 吉伸氏

#### 第6回・2月3日・大阪科学技術センター

##### ①「研究開発の育成法：技術・市場トレンドからシーズを生み出す為に」

積水化学工業(株) シニアフェロー 中壽賀 章氏

##### ②「憲法の日独比較」 京都産業大学大学院法務研究科 客員教授 初宿 正典氏

### (自主講座)

#### 第1回・5月12日～13日・ホテルラフォーレ琵琶湖

##### ①自己・自社PR

②合宿：ホテルラフォーレ琵琶湖

第2回・7月21日～22日・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）本所

①講演：製品安全センター業務の概要

②見学：製品評価技術基盤機構（NITE）本所

③合宿：アワーズイン阪急

第3回・9月8日～9日・国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部

①講演：「有人潜水船しんかい6500と日本の海底資源」

海洋研究開発機構 広報部 部長 田代 省三氏

②見学：海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部

③合宿：アパホテル横浜関内

第4回・11月10日～11日・香川県産業技術センター発酵食品研究所・小豆島オリーブ公園

①見学・講演：香川県産業技術センター発酵食品研究所

②見学・講演：小豆島オリーブ公園

③合宿：小豆島 シーサイドホテル 松風

第5回・1月19日～20日・全日本空輸(株)ANA機体工場

①見学：全日本空輸(株)ANA機体工場

②合宿：アワーズイン阪急

第6回・3月16日～17日・福岡地区水道企業団施設部海水淡水化センター（まみずピア）、(株)やまやコミュニケーションズ

①見学：福岡地区水道企業団施設部海水淡水化センター（まみずピア）

②見学：(株)やまやコミュニケーションズ

③合宿：東横INN博多口駅前

## 2. 学術セミナー・講習会

本会の目的達成をするために事業企画委員会で化学に関する専門的な学術セミナー・学術講習会・学術講演会・見学会等の開催により、科学技術の普及・振興を図る。

第22講「研究開発リーダー実務講座2017」

－企業の未来を担う理想の研究開発リーダー像とは？－

（6月7日～11月1日・大阪科学技術センター／毎月1回開講・全6回）

第1回（6月7日）：「研究開発リーダーのあり方」（61名）

①趣旨説明

②話題提供「「弱者の時代」のリーダーシップ「無知力」と「俯瞰力」を鍛えよ」

ケルセジェン・ファーマ ファウンダー兼開発担当社長 小野 光則氏

③グループディスカッション・交流会

第2回（7月5日）：「イノベーションと変革」（59名）

①話題提供「製薬産業におけるオープンイノベーションとは－オープンイノベーションによる日本発画的な新薬を目指して－」

塩野義製薬（株）シニアフェロー 坂田 恒昭氏

②話題提供「富士フィルムの挑戦－第二の創業と化粧品事業の立ち上げ」

富士フィルム（株）R&D統括本部先端コア技術研究所 副所長

兼 経営企画本部イノベーション戦略企画部 技術マネージャー 中村 善貞氏

③グループディスカッション・交流会

第3回（8月2日）：「人財を活かすマネジメント」（58名）

①話題提供「研究開発における女性の躍進について」

サントリーホールディングス（株）ヒューマンリソース本部人事部

ダイバーシティ推進室 室長 弥富 洋子氏

②話題提供「企業価値創出のための研究開発における人材育成」

元（株）ダイセル/YTテクノフロンティア 代表 渡加 裕三氏

③グループディスカッション・交流会

第4回(9月6日):「知財と事業化戦略」(59名)

①話題提供「日本のとるべき知財戦略」 山本特許法律事務所 弁理士 山本 秀策氏

②話題提供「CD-Rの事業化とライセンス戦略」  
元太陽誘電(株) / JSTプログラムオフィサー 浜田恵美子氏

③グループディスカッション・交流会

第5回(10月4日):「ものづくりと技術者倫理」(57名)

①話題提供「創薬への情熱—睡眠薬ロゼレムの誕生秘話—」

元武田薬品工業(株) / 立命館大学グローバル・イノベーション研究機構 教授 内川 治氏

②話題提供「工学倫理は企業を益する」

元花王(株) 研究所長 / 元北海道大学教授 辻井 薫氏

③グループディスカッション・交流会

第6回(11月1日):「R&Dのマネジメント」(54名)

①話題提供「将来の多軸創出のために—サステナブル企業を目指して—」

日東電工(株) 専務執行役員 C I O 経営インフラ統括部門長 表 利彦氏

②グループディスカッション・交流会

近化資源セミナー「これからの海洋資源と産業への応用—日本が資源大国に!?!—」・6月28日

・大阪科学技術センター(33名)

①「海洋底の金属資源の探査」 神戸大学 海洋底探査センター 特命教授 両角 春寿氏

②「海洋国産資源の現状と展望」

(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 総務部戦略企画室 室長 末廣 能史氏

③「有人潜水船しんかい6500と日本の海底資源」

(国研)海洋研究開発機構(JAMSTEC) 広報部 部長 田代 省三氏

④「ヨウ素の現状と将来」

伊勢化学工業(株) 取締役 兼 常務執行役員技術本部長 佐々木 保氏

近化電池セミナー「電気自動車用蓄電池の最前線」・11月24日・大阪科学技術センター(57名)

①「電気自動車用蓄電池の高容量化へのアプローチ」

日産自動車(株)総合研究所先端材料研究所 エキスパートリーダー 秦野 正治氏

②「定置用蓄電池の現状と車載用鉛代替バッテリーへの展開」

エリーパワー(株) 代表取締役専務執行役員 河上 清源氏

③「リチウムイオン二次電池用層状酸化物系正極材料の研究開発動向」

(株)豊田中央研究所電池材料プロセス研究室 二次電池リサーチリーダー 牧村 嘉也氏

④「リチウムイオン二次電池用負極材料」 京都大学大学院工学研究科 教授 安部 武志氏

⑤「リチウムイオン電池における多孔質電極の微細構造」

パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社

エナジー技術センター 主任技師 武野 光弘氏

⑥「リチウムイオン電池のビジネス環境」 (株)八山 代表取締役 馬場 良貴氏

近化若手フォーラム【第1回】・12月4日・大阪科学技術センター(116名)

[I] 話題提供「若手研究者へのメッセージ」

①「キンカ世代別同好会って?—若手フォーラムから悠化会(ゆけのかい)発足へ」

奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 准教授 森本 積氏

②「社外人脈形成の楽しみ方と活用方法」

ペルノックス(株)IV戦略室 甲谷 慎司氏

[II] 話題提供「キャリア形成における人脈ネットワークの重要性」

①「日本ペイントのイノベーション—キンカ人脈の恩恵—」

日本ペイントホールディングス(株) R&D本部長 小畑 裕作氏  
②「産業界の立場で紀舎会(きせいかい)に参加して」

(株)カネカ Performance Polymers Solutions Vehicle MS部長 中川 佳樹氏

### [Ⅲ] 交流会

新春セミナー2018・1月26日・ヒルトン大阪(90名)

「三洋化成の技術開発～「人」中心の経営～」

三洋化成工業(株)代表取締役 社長 安藤 孝夫氏

第9回ファインバブル技術講習会「微細気泡の基礎とその応用」・1月16日

・大阪科学技術センター(55名)

①「マイクロバブル・ナノバブルの基礎を振り返って」 京都大学名誉教授 芹澤 昭示氏

②「分子スケールで調べるファインバブルの物性」

京都大学大学院工学研究科 准教授 松本 充弘氏

③「マイクロバブル生成技術と界面輸送現象の利活用」

筑波大学システム情報系 准教授 金子 暁子氏

④「ファインバブルを利用した人工透析回路内の流れの可視化および医療分野における洗浄への応用」

岡山理科大学理学部応用物理学科 准教授 堀 純也氏

⑤「ひょうごTTOのファインバブル事業顛末記: 我国の潜水艦技術の第一人者がなぜファインバブル事業を起業したか」 ひょうごTTO合同会社 代表 佐野 正氏

⑥ファインバブル発生・計測技術実演展示会

近化高機能材料セミナー「絶対に負けない日本の医療材料技術」・1月24日・大阪科学技術センター(43名)

①「バイオマテリアル技術の次世代応用としての再生医療ー自然治癒力を高めて病気を治すー」

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 教授 田畑 泰彦氏

②「マイクロファイバーを用いた迅速タンパク質・細胞アッセイ」

東京大学大学院工学系研究科 教授 高井まどか氏

③「イオン導電性高分子アクチュエータの医療技術への応用」

産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 堀内 哲也氏

④「血液透析器の開発」

東レ(株)先端材料研究所 医療システム研究室 主任研究員 上野 良之氏

⑤「ウイルス除去膜」 旭化成メディカル(株)バイオプロセス事業部 主席研究員 井出 正一氏

⑥「生分解性ポリマーを用いたバイオ医薬品のDDS創薬」

(株)岡田DDS研究所 代表取締役所長/東京薬科大学名誉教授 岡田 弘晃氏

第15回キンカ高分子化学研修コース・3月5日・大阪科学技術センター(39名)

①「高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術」

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介氏

②「高分子物性の基礎と応用～相容性と高分子ブレンド」

滋賀県立大学工学部材料科学科 教授 徳満 勝久氏

③「高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合」

住友重機械プロセス機器(株)技術部 グループリーダー 竹中 克英氏

④「高分子材料の成形加工品の評価～ユーザーから見れば」

大阪ガス(株)技術戦略部 オープンイノベーション室長 樋口 裕思氏

⑤「研究と事業化～筋の通った研究開発を進めるために」

神戸大学 客員教授/元(株)日本触媒 喜多 裕一氏

### 3. 学術講演会

本会社員総会終了後の特別講演会として5月26日・大阪科学技術センターで開催した。

特別講演会・5月26日・大阪科学技術センター（80名）

「半世紀のヒマラヤ登山—高所順化と生命—」

登山家・元住友ゴム工業(株) 専務取締役 平林 克敏氏

### 4. 見学会（科学技術週間協賛行事）

科学技術の普及啓発活動の一環として、科学技術に関し、ひろく一般国民の関心と理解を深め、もって我が国の科学技術の振興を図ることを目的に下記見学会を実施した。

科学技術週間協賛行事「京都大学総合博物館の見学会」・4月22日・京都大学総合博物館（29名）

①レクチャー「旧制第三高等学校由来の科学技術教育装置」

京都大学総合博物館 准教授 塩瀬 隆之氏

②レクチャーツアー「多様性の科学」

京都大学総合博物館 教授 本川 雅治氏

### 【化学に関する知識普及及び情報の提供事業】（公益目的事業4）

会誌「近畿化学工業界」を月刊誌として、化学工業に関する広巾な知識の普及と情報の提供を行うこと及び情報の交換の場とすることを目的として発行する。記事内容は共通する事項を網羅して、専門以外の幅広い化学分野の最先端の動きを掲載することにより、化学技術の普及と振興を図る。

1. 会誌「近畿化学工業界」（月刊） 第69巻第4号～第12号(通巻768号～通巻776号)、第70巻第1号～第3号(通巻777号～通巻779号)

### 【技術交流事業】（共益事業1）

特定分野に限らない学術講演会・サロン・見学会・交流会の開催により、科学技術の普及、振興を図る。

1. キンカ東京サロン

東京在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い会員交流・技術情報の交換を図った。

第132回・4月20日（12名）

「機械学習の可能性と活用事例」

Smartium(株) 代表取締役 江川 崇氏

(株)システムラボラトリ画像処理ソリューションビジネス ジェネラルマネージャ 小澤 泰生氏

第133回・6月23～24日・マホロバ・マインズ三浦（12名）

「“ドラえもののポケット、もしくは・・・”～人の望みのベクトルと化学産業」

科学技術コミュニケーター 泉 優佳理氏

「世界で一番小さなカプセル～シクロデキストリン・ナノテクノロジー」

(株)シクロケム 代表取締役社長 寺尾 啓二氏

第134回・9月21日（11名）

「循環型社会に向けたリサイクル事業の産業化と新たな取り組み

－ 3R、エネルギー回収、資源回収、CO<sub>2</sub>削減、そしてベトナム進出 －

(株)市川環境エンジニアリング 執行役員 加賀山保一氏

第135回・11月16日（14名）

「ブロック共重合体を用いたプラスミドDNAの高次構造制御と遺伝子デリバリーシステムへの展開」

東京大学大学院工学系研究科/JST-さきがけ 准教授 長田 健介氏

第136回・2月15日（12名）

「均一系触媒と高分子合成—錯体屋が見た重合反応—」

東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所 教授 小坂田耕太郎氏

## 2. キンカ京都化学者クラブ

京都在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行い  
会員交流・技術情報の交換を図った。

毎月第1土曜日を原則として京都大学楽友会館にて開催

第322回・4月1日・京都大学楽友会館（15名）

「ゾルーゲル法による多孔材料—孔を制御し利用する—」

京都大学大学院理学研究科化学専攻准教授 中西 和樹氏

第323回・5月13日・京都大学楽友会館（14名）

「沿岸環境研究への安定同位体比分析法の利用」

京都大学学際融合教育推進センター森里海連環学教育ユニット特定教授 横山 壽氏

第324回・6月3日・京都大学楽友会館（13名）

「もっと光を！ レーザー科学が拓く科学と技術」

京都大学化学研究所教授 阪部 周二氏

第325回・7月1日・京都大学楽友会館（9名）

「海水中のナノ粒子金属硫化物—これまでとこれから—」

大阪大学大学院理学研究科附属基礎理学プロジェクト研究センター 中山 典子氏

第326回・8月5日・京都大学楽友会館（7名）

「森里海連環学—人と自然のつながりの視座—」

京都大学フィールド科学教育研究センター 教授 吉岡 崇仁氏

第327回・9月2日・京都大学楽友会館（10名）

「共焦点型蛍光X線分析法による水溶液中固体表面近傍の元素分布の可視化」

大阪市立大学大学院工学研究科 教授 辻 幸一氏

第328回・10月7日・京都大学楽友会館（14名）

「ビタミンの発見余話」

京都大学名誉教授 左右田 健次氏

第329回・11月11日・京都大学楽友会館（37名）

「溶存窒素化合物の窒素酸素安定同位体比による窒素循環解析」

京都大学生態学研究センター 教授 木庭 啓介氏

第330回・12月2日・京都大学楽友会館（10名）

「発光細菌の発光分子メカニズム及びストレス応答性バイオセンサーとしての細菌生物発光」

京都工芸繊維大学大学院工業科学研究科 教授 柄谷 肇氏

第331回・1月6日・京都大学楽友会館（10名）

新春賀詞交歓会

第332回・2月3日・京都大学楽友会館（13名）

「老化による蛋白質中のD-アミノ酸生成と加齢性疾患」

京都大学原子炉実験所放射線生命科学研究部門 教授 藤井 紀子氏

第333回・3月3日・京都大学楽友会館（11名）

「SI 単位系の再定義—キログラム原器はどうなるの？」

関西学院大学理工学部環境・応用化学科 教授 千葉 光一氏

## 3. キンカつくばサロン

筑波在住の会員の世話による、斯界の第一人者を招いた化学（科学）に関する学術講演と討論を行  
い会員交流・技術情報の交換を図った。

開催なし

## 4. 新年交歓会



化学並びに化学工業界の発展に尽くされた名誉会員をはじめ、大先輩をお招きして、産官学の会員約200名が一堂に会して、化学技術に関する情報交換と交流会を行った。

第72回新年交歓会・1月26日・ヒルトン大阪（195名）

## 5. 化学技術アドバイザー会（キンカCA）

アドバイザー登録者（近畿化学協会正会員の有志101名）による自主運営とし、近畿化学協会での位置づけ（組織図）は、研究部門委員会（専門部会・目的研究会）の規定を準用する体制のもとで活動を行う。

会員企業及び一般企業から依頼により技術相談を行う活動と工学倫理研究会、化学教育研究会、安全研究会、MOT研究会では登録会員間の情報交換・懇談会及びこれまでの経験を生かした社会への貢献、啓発活動を行う。

技術相談日：随時対応

アドバイザー情報交換・懇談会（年4回）

工学倫理研究会：原則毎月1回（第4月曜日）

化学教育研究会：原則毎月1回（第2水曜日）

安全研究会：原則毎月1回（第1月曜日）

MOT研究会：原則毎月1回（第3水曜日）

教科書編集委員会：工学倫理研究会における教科書編集委員会（第4版改訂）。編集委員会の分科会として6分科会が活動。安全分科会、リスク分科会、環境・資源分科会、法規分科会、知財分科会、先端技術分科会。

【技術相談】6件

【年次大会】6月5日（29名）

【情報交換・懇談会】8月28日（17名）、11月27日（26名）、3月5日（21名）

【工学倫理研究会】

工学倫理の教授法について意見交換を重ねるとともに、大学・学校などへ講師の推薦を行った。第159回（4/24・21名）、第160回（5/22・21名）、第161回（6/26・23名）、第162回（7/24・22名）、第163回（9/25・20名）、第164回（10/23・15名）、第165回（11/27・27名）、第166回（12/18・21名）、第167回（1/22・16名）、第168回（2/26・17名）、第169回（3/26・23名）

【化学教育研究会】

学生（小学生から大学院まで）を対象として地球環境・産業に関わる化学教育支援および専門化学教育支援を行った。

第154回（4/12・13名）、第155回（5/10・14名）、第156回（6/14・13名）、第157回（7/12・15名）、科学フェスティバル（8/6・6名）、第158回（9/13・12名）、第159回（10/11・7名）、第160回（11/8・8名）、第161回（12/13・11名）、第162回（1/10・9名）、第163回（2/14・11名）、第164回（3/14・10名）

【安全研究会】

公的機関及び企業・大学向けの教育資料作成と安全指導を行った。

第141回（4/3・12名）、第142回（5/8・11名）、第143回（6/5・14名）、第144回（7/3・14名）、第145回（9/4・12名）、第146回（10/2・15名）、第147回（11/6・14名）、第148回（12/4・12名）、第149回（1/9・14名）、第150回（2/5・15名）、第151回（3/5・13名）

【MOT研究会】

化学産業において実際に役立つ研究開発テーマの発掘と育成をめざした実践的技術経営の検証を行った。

第32回（4/19・11名）、第33回（5/17・8名）、第34回（6/21・8名）、第35回（7/19・10名）、第36回（8/17・6名）、第37回（9/20・9名）、第38回（10/18・7名）、第39回（11/15・7名）、第40回（12/20・9名）、第41回（1/17・8名）、第42回（2/21・5名）、第43回（3/28・8名）

【教科書編集会議】

[教科書編集会議]第3回(5/22・9名)、第4回(8/28・9名)、第5回(11/27・10名)、第6回(2/26・10名)

[安全分科会]第3回(6/26・6名)、第4回(9/25・4名)、第5回(12/18・4名)

[リスク分科会]第2回(4/24・4名)、第3回(7/24・6名)、第4回(9/25・7名)、第5回(12/18・7名)

[環境・資源分科会]第2回(7/24・5名)

[知財分科会]第2回(4/24・4名)、第3回(7/24・3名)

## 【専門部会事業】(共益事業2)

化学の専門分野に応じた9の各専門部会を設置し、各専門部会が部会の目的に沿って部会員の活動の場となり、部会員が協力して科学技術の振興を図る。部会員相互の学術的及び技術的知識の増進を図ることを目的として、例会(学術講演会)、基礎講習会、学術講習会、学術セミナー、討論会、シンポジウム、フォーラム、公開講演会、懇話会等を行う。

### 第1部会(有機金属部会)

有機金属化学における基礎研究並びにスペシャリティケミカルズの開発に関する研究会として例会(学術講演会)・学術セミナー・討論会等の実施および知識普及事業として部会機関誌 Organometallic News を刊行した。

第1回例会・4月14日・大阪科学技術センター(25名)

①「有機と無機の境を歩く」 奈良工業高等専門学校 物質化学工学科 教授 嶋田 豊司氏

②「低配位ケイ素化合物の合成、構造、並びに機能」

筑波大学 特命教授・名誉教授 関口 章氏

③「空間の化学との出会い」 京都大学物質-細胞統合システム拠点 拠点長 北川 進氏

第44回有機金属化学セミナー・6月2日・キャンパスプラザ京都(113名)

①「遷移金属錯体触媒反応を理解するための基礎知識」

大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 松坂 裕之氏

②「クロスカップリング反応」

京都大学大学院理学研究科 教授 依光 英樹氏

③「C-H官能基化」

大阪大学大学院工学研究科 特任講師 鳶巢 守氏

④「遷移金属触媒反応を活用する機能性有機材料の合成」

京都工芸繊維大学分子化学系 教授 清水 正毅氏

⑤「遷移金属エノラートを鍵とする不斉触媒反応」

国立研究開発法人理化学研究所 袖岡有機合成化学研究室 主任研究員 袖岡 幹子氏

第2回例会・6月23日・東京工業大学大岡山キャンパス(175名)

①「理論と実験で切り拓く分子科学」

東京大学大学院薬学系研究科 教授/理化学研究所 主任研究員(兼務) 内山 真伸氏

②「重原子の導入による芳香族性の拡張と錯体化学への展開」

埼玉大学大学院理工学研究科 教授 齋藤 雅一氏

③「配位子つくって30年」

北海道大学大学院理学研究院 教授 澤村 正也氏

第64回有機金属化学討論会・9月7日～9日・東北大学川内キャンパス(503名)

口頭発表 45件、ショートトーク、ポスター発表 198件 合計 243件

第3回例会・11月24日・徳島大学(99名)

①「高反応性ホウ素化合物の特異な反応」 名古屋大学大学院工学研究科 教授 山下 誠氏

②「クロスカップリング反応を利用する含金属機能性高分子材料の創製」

東京大学大学院総合文化研究科 教授 寺尾 潤氏

③「ニッケラサイクルを経由する分子変換反応」 大阪大学大学院工学研究科 教授 生越 専介氏

第4回例会・2月2日・京都大学桂キャンパス(55名)

①「有機合成触媒の合理的設計に基づく高選択的反応の開発」

金沢大学医薬保健研究域 教授 大宮 寛久氏

- ① 「脱炭酸・脱カルボニル化反応の新展開」 大阪大学大学院工学研究科 教授 鳶巢 守氏  
 ② 「非中心不斉化合物の新展開」 大阪府立大学大学院理学系研究科 教授 神川 憲氏

部会機関誌 Organometallic News 2017 No.2, 3, 2018 No.1 (Web版), 2017冊子体刊行

## 第2部会 (合成部会)

有機合成化学の基礎研究並びに医薬、農薬、エネルギー開発生体模倣材料の合成化学的開発に関する研究会として合成フォーラム等を実施した。部会内に設置されたフロー・マイクロ合成研究会では、自動合成やマイクロリアクターを使った合成に関する研究会として研究会 (学術講演会)、公開講演会&展示会等を実施した。

第1回合成フォーラム・5月19日・大阪大学蛋白質研究所 (28名)

- ① 「クライオ電子顕微鏡法の進展と今後の展望」

日本エフイー・アイ(株)ライフサイエンス部門 アカウントマネジャー 葦原 雅道氏

- ② 「特殊環状ペプチドによる受容体-リガンド相互作用のアロステリック阻害」

大阪大学蛋白質研究所 附属蛋白質解析先端研究センター 教授 高木 淳一氏

- ③ 見学会：蛋白質研究所 共同研究拠点等の紹介、同所内見学 (クライオ電子顕微鏡等々) ほか

第2回合成フォーラム・11月29日・(株)ダイセル イノベーション・パーク (17名)

- ① 「パターン認識技術のご紹介」

グローリー(株)研究開発センター認識技術グループ グループマネージャー 後藤 雅典氏

- ② 「口腔内崩壊錠用賦形剤グランフィラーDの開発と当社がめざす事業展開」

(株)ダイセル 研究開発本部コーポレート研究センター機能材料セグメント 石川 左枝氏

- ③ 見学会：同所 イノベーション・パーク施設ほか

第14回国際有機化学京都会議 (IKCOC-14)の準備 (平成30年11月・京都にて開催予定)

## [フロー・マイクロ合成研究会]

第74回研究会・5月12日・大阪科学技術センター (53名)

- ① 「強制薄膜式マイクロリアクターを用いたナノ粒子の作製からスケールアップまで」

エム・テクニク(株)研究開発グループ 本田 大介氏

- ② 「超音波管型晶析システムを用いた医薬品原薬の粒度制御」

武田薬品工業(株)ファーマシューティカル・サイエンス 主任研究員 古田 雅士氏

- ③ 「フロー・マイクロリアクターによるナノ粒子合成」

(国研) 産業技術総合研究所化学プロセス研究部門 上級主任研究員 中村 浩之氏

第31回公開講演会&展示会 (第75回研究会) ・7月28日・大阪科学技術センター (119名)

- ① 「フローマイクロリアクターを用いた有機光反応の高効率化」

奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 教授 垣内 喜代三氏

- ② 「Challenges in Flow Chemistry」

Cardiff University(UK) Thomas Wirth氏

- ③ 出展企業プレゼンテーション

- ④ 「Continuous efficient single and multistage extraction」

Zaiput Flow Technologies(USA) Andrea Adamo氏

- ⑤ 「均一系不斉触媒を用いる連続フロー生産」

(株)高砂ケミカル 代表取締役社長 齊藤 隆夫氏

- ⑥ 「シストセンチウふ化促進物質の化学合成」

北海道大学大学院理学研究院 教授 谷野 圭持氏

＝展示＝ 自動合成・マイクロ合成装置などのデモ

(株)朝日ラボ交易、(株)神戸製鋼所、(株)潤工社、(株)DFC、(株)日本サイエンスコア、  
 日本スウェーロックFST(株)、Blacktrace Japan(株)、富士テクノ工業(株)、マックエンジニア  
 リング(株)、メトラー・トレド(株)、(株)ワイエムシイ

第76回研究会・10月20～21日・アバローム紀の国(和歌山市) (65名)

①「ホスゲン反応へのフローシステム適用とGMP・マルチパーパス設備の導入」

(株)カネカ Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle 主任 安河内宏昭氏

②「創薬化学を指向したフロー自動合成の活用」

塩野義製薬(株)創薬・探索研究所 主任研究員 海野 知宏氏

③「フローケミストリー先進地を目指して」

和歌山県工業技術センター化学産業部 主任研究員 森 一氏

④「フローマイクロ反応系を使ったE0/P0付加反応」

中日合成化学(股)公司 顧問 松田 立人氏

⑤「マイクロスラグ流を利用したバイオマス由来物質の転換」

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 准教授 牧 泰輔氏

⑥「国際シンポジウム「ICAMS-1」のハイライト」

京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 講師 永木 愛一郎氏

The First International Conference on Automated Flow and Microreactor Synthesis(ICAMS-1)

フロー・マイクロ合成国際会議・1月18～20日・ホテル阪急エキスポパーク(大阪府吹田市) (215名)

[Plenary Lectures]

① Volker Hessel (Technische Universiteit Eindhoven, the Netherlands)

② C. Oliver Kappe (University of Graz, Austria)

③ Timothy F. Jamison (Massachusetts Institute of Technology, USA)

④ Koichi Fukase (Osaka University, Japan)

[Keynote Lectures]

① John R. Naber (Merck, USA)

② Andrew Rutter (GSK, UK)

③ Leslaw Mleczko (Bayer, Germany)

④ Joerg Sedelmeier (Novartis, Switzerland)

⑤ Yangcheng Lu (Tsinghua University, China)

[Invited Lectures]

① Takashi Fukuyama (Eisai Co., Ltd., Japan)

② Yasuhiro Nishiyama (Industrial Technology Center of Wakayama Pref., Japan)

③ Hiroaki Yasukouchi (Kaneka Corp., Japan)

④ Yuichi Nakahara (Ajinomoto Co., Inc., Japan)

⑤ Hirotsugu Usutani (Takeda Pharmaceutical Co., Ltd.)

⑥ Shinichiro Fuse (Tokyo Institute of Technology, Japan)

⑦ Hiroyuki Miyamoto (The University of Tokyo)

⑧ Heejin Kim (Kyoto University, Japan)

ほか、ポスター発表37件、

=付設展示=

(株)朝日ラボ交易、エム・テクニク(株)、マックエンジニアリング(株)、(株)クオリティデザイン、(株)神戸製鋼所、(株)潤工社、(株)スクラム、(株)タクミナ、(株)DFC、DKSHジャパン(株)、東京理化工機(株)、(株)ナード研究所、(株)日本サイエンスコア、富士テクノ工業(株)、Blacktrace Japan(株)、マックエンジニアリング(株)、(株)ワイエムシィ

### 第3部会(触媒・表面部会)

触媒化学の基礎研究並びにファインケミカルズ開発の触媒設計等に関する研究会としてキャタリストクラブ例会(学術講演会)、学術セミナー、学術講習会等を実施した。

第1回キャタリストクラブ例会・6月15日・大阪大学中之島センター(23名)

①「異種ディスクリート活性点を複合化した固体触媒」

大阪市立大学大学院工学研究科 教授 山田 裕介氏

②「ナノスケール炭素をテンプレートに利用した触媒創成」

同志社大学理工学部 教授 竹中 壮氏

入門触媒科学セミナー・10月10日～11日・大阪科学技術センター（43名）

①「触媒科学の基本概念－これだけは知っておこう」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏

②「固体表面の酸・塩基点とその触媒機能」

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 山本 孝氏

③「金属酸化物触媒－多様な触媒機能の宝庫－」

京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏

④「錯体の触媒作用－遷移金属錯体の基礎と有機合成反応における利用」

関西大学化学生命工学部 教授 大洞 康嗣氏

⑤「金属表面と触媒作用－パラジウムなどの貴金属ナノ粒子触媒の設計」

大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授 水垣 共雄氏

⑥「触媒調製化学－基礎から最近のナノ構造触媒まで－」

大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

第2回キャタリストクラブ例会【第10回触媒表面化学研究発表会】

国際シンポジウム (Osaka-Kansai International Symposium on Catalysis (OKCAT2017))

・10月27日～28日・関西大学（62名）

①「Metal-Organic Frameworkの調製とその用途 -Catalysis and Separation-」

関西大学環境都市工学部 教授 三宅 孝典氏

②ショートトーク、ポスターセッション

③<Plenary> “Effective Charge Carrier Utilization in Photocatalytic Conversions”

天津大学 教授 Jinlong Gong氏

④<Keynote> “Recent Progress on Photocatalytic Water Splitting under Visible Light Based on Mixed-Anion Compounds”

京都大学大学院工学研究科 教授 阿部 竜氏

⑤<Plenary> “Acid-Base Catalysis of Ceria and Doped Ceria in Organic Transformation”

中国科学院 大連化学物理研究所 教授 Feng Wang氏

⑥合同交流会

⑦<Keynote> “Photocatalytic Reduction of Carbon Dioxide with Silver Loaded Titanate Photocatalysts”

京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏

⑧<Plenary> “Single-Atom Metal Catalysts: Structure, Reactivity and Stability”

シンガポール国立大学 教授 Ning Yan氏

⑨<Keynote> “Catalytic Performance of Pd-Promoted Mn-YbFeO<sub>3</sub> for Purifying Automotive Exhaust Gases”

京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 細川 三郎氏

⑩<Plenary> “De Novo Synthesis of Functional Metal-Organic Frameworks (MOFs) for Catalysis Applications”

国立台湾大学 教授 Kevin C.-W. Wu氏

⑪<Keynote> “Design of Nano-Catalysts for the Use of Formic Acid as a Renewable Hydrogen Storage Material”

大阪大学大学院工学研究科 准教授 森 浩亮氏

ナノ材料の表面分析講習・12月7日～8日・関西大学（55名）

①「表面分析概論」

関西大学環境都市工学部 教授 三宅 孝典氏

②「電子スピン共鳴 (ESR)」

大阪府立大学大学院工学研究科 教授 松岡 雅也氏

③「X線回折 (XRD)・蛍光X線」

京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 細川 三郎氏

④ 装置見学

⑤「X線光電子分光法 (XPS)」

大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 竹内 雅人氏

⑥「紫外可視・光ルミネセンス」

大阪工業大学工学部 准教授 東本 慎也氏

- ⑦「XAFS」 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授 山本 孝氏
- ⑧「赤外・ラマンスペクトル」 関西大学環境都市工学部 教授 池永 直樹氏
- ⑨「昇温スペクトル(TPD・TPR)」 京都大学大学院工学研究科 准教授 寺村謙太郎氏
- ⑩「核磁気共鳴(NMR)」 香川大学医学研究院 教授 和田 健司氏
- ⑪「MS, SIMS」 神戸大学大学院工学研究科 准教授 市橋 祐一氏
- ⑫「TEM・SEM・STM・AFM」 近畿大学理工学部 教授 古南 博氏
- ⑬「総論・ケーススタディー」 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 吉田 寿雄氏
- 第3回キャタリストクラブ例会・1月10日・大阪大学中之島センター(30名)
- ①「ゼオライト合成の最新研究動向ーゼオライト水熱転換を中心にー」  
広島大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授 佐野 庸治氏
- ②「積層構造を乱した多孔質粘土鉱物の開発と、その酸触媒特性の活用」  
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 教授 尾中 篤氏

#### 第4部会(ヘテロ原子部会)

脱硫、脱硝に伴う副生物の有効利用、ヘテロ原子化学の基礎研究並びに応用開発に関する研究会として懇話会(学術講演・見学会)等を実施した。

第1回懇話会・5月15日・岩谷産業(株)中央研究所(21名)

- ①「発光タンパクで利用されるヘテロ芳香環化合物の合成と活性評価」  
神戸大学大学院農学研究科 准教授 久世 雅樹氏
- ②「水素エネルギー社会の幕開け」 岩谷産業(株)中央研究所 水素技術開発担当 辻上 博司氏
- ③岩谷産業(株)中央研究所 概要説明および見学会(中央研究所・水素ステーション)

第2回懇話会・11月13日・武田薬品工業(株)京都薬用植物園(17名)

- ①「立体化学を制御した飽和ヘテロ環状化合物の合成」  
大阪大学大学院薬学研究科 招聘教授(前京都薬科大学 教授) 上西 潤一氏
- ②武田薬品工業(株)京都薬用植物園 説明・見学会

第3回懇話会・1月29日・大阪科学技術センター(18名)

- ①「近赤外色素を母体とする腫瘍造影剤の開発」  
京都大学大学院工学研究科 准教授 三木 康嗣氏
- ②「窒素原子上にヘテロ原子をもつイミンおよびアミドの特性を活用したヘテロ環合成」  
神戸薬科大学薬品化学研究室 准教授 上田 昌史氏
- ③「フッ素の特徴を活かした触媒的炭素-炭素結合形成反応ーフッ素だから出来ること、フッ素にしか出来ないことー」  
大阪大学大学院工学研究科 講師 岩崎 孝紀氏

#### 第5部会(バイオ部会)

バイオテクノロジーの基礎研究並びに工業生産技術開発に関する研究会として例会(学術講演会)等を実施した。

第1回例会・9月1日・江崎グリコ(株)本社(36名)

- ①「土の健康診断ー土の環境で農産物は変わる!ー」  
立命館大学生命科学部 生物工学科 教授 久保 幹氏
- ②「細胞膜2次元・3次元ダイナミクスと信号伝達」  
北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス系 教授 高木 昌宏氏
- ③「一研究者がビジネスを考えた時」  
江崎グリコ(株)取締役常務執行役員研究部門統括 栗木 隆氏
- ④<企業ミュージアム>江崎記念館・健康科学研究所見学会

第2回例会・2月27日・(地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター(35名)

- ①「介護食調整用食品素材の開発」  
(地独)大阪産業技術研究所森之宮センター 生物・生活材料研究部長 畑中 芳郎氏

- ② 「食・腸内細菌・健康の相関解明を目指した代謝物研究」

京都大学大学院農学研究科 教授 小川 順氏

- ③ 「施設紹介と活動内容の紹介」

(地独)大阪産業技術研究所森之宮センター 研究管理監 小野 大助氏

## 第6部会 (機能性色素部会)

機能性色素材料の基礎研究並びにデザイン、合成、物性等に関する研究会として例会(学術講演会)、公開講演会を実施した。

機能性色素・エレクトロニクス部会合同公開講演会・4月26日・大阪科学技術センター(109名)  
テーマ「ディスプレイ材料に関する最近の動向と新展開」

- ① 「液晶ディスプレイの配向技術と材料」

(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所 諏訪 俊一氏

- ② 「FPD用カラーレジスト材料」

JSR(株)ディスプレイ材料研究所 LCD材料第二開発室 主任研究員 森下 聡氏

- ③ 「ディスプレイにおける色材の役割と研究開発動向」

LG 化学材料事業部門 Display材料事業部 LCD材料開発担当 金 載駿氏

- ④ 「ディスプレイ向け光パターンニング材料の開発動向と展開」

BASFジャパン(株)尼崎研究開発センター 鮫島かおり氏

- ⑤ 「高密度ポリマーブラシを利用したディスプレイ材料の創製」

東京工業大学大学院物質理工学院 応用化学系 准教授 戸木田雅利氏

見学・研修セミナー@日東電工(株)inovas・7月10日・日東電工(株)茨木事業所(43名)

[エレクトロニクス部会と共催]

- ① 「精密重合と機能性高分子精密合成の新展開」

中部大学総合工学研究所 教授・京都大学名誉教授 澤本 光男氏

- ② 「日東電工における研究開発の現状と方向性」

日東電工(株) 全社技術部門研究開発本部基幹技術研究センター センター長 佐竹 正之氏  
見学会 同所 イノベーションセンター概要説明、見学(研究開発と人材育成の融合施設「inovas」)

第8回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム[EAS-8]・9月20~22日・

CSIR-NIIST, Thiruvananthapuram, Kerala, INDIA [エレクトロニクス部会と共催]

[Invited Lectures]

- ① Prof. Dr. Kenji Matsuda, Kyoto University, Japan

Dynamic Supramolecular Assemblies Made of Photochromic Diarylethenes: LCST and Chiral Recognition

- ② Prof. Dr. Takeshi Maeda, Osaka Prefecture University, Japan

Squaraine-Based Donor "Acceptor" Donor Triads for Bottom-Up Construction of Well-Defined D/A Interfaces

- ③ Prof. Dr. Yoshio Aso, Osaka University, Japan

Highly Electron-Accepting p-Conjugated Compounds for Organic Electronics

- ④ Prof. Dr. Yasuhiro Kubota, Gifu University, Japan

Synthesis and Optical Properties of Boron Complexes

- ⑤ Prof. Dr. Masaki Matsui, Gifu University, Japan

Molecular Design of Indoline Dyes for Dye-Sensitized Solar Cells

[Plenary Lectures]

- ① Prof. Dr. K.-i. Nakayama, Osaka & Yamagata University, Japan

Vertical Carrier Transport in the Organic Thin Films: Materials Design and Device Application

- ② Prof. Dr. Hiroshi Imahori, Kyoto University, Japan

Photoinduced Electron Transfer in Donor-Acceptor Conjugates

③ Prof. Dr. Shigeyuki Yagi, Osaka Prefecture University, Japan  
Phosphorescent Organometallic Complexes for OLED Application: From Small Molecules to Dendrimers

[Industry Lectures]

① Mr. Masato Inoue, Sumitomo Chemical Company, Japan  
Development of Color Resists Containing Novel Dyes for Liquid Crystal Display

② Mr. Yoshihiko Fujie, Fujifilm Corporation, Japan  
Phthalocyanine Blend for Inkjet Ink

第94回例会・11月22日・大阪科学技術センター（45名）

テーマ「近赤外吸収色素の研究・開発動向」

① 「フタロシアニン系色素の開発と応用」

(株) 日本触媒 事業創出本部研究センター化粧品プロジェクト

プロジェクトリーダー 北尾 倍章氏

② 「日本カーリットにおけるジイモニウム系色素の開発と応用」

カーリットホールディングス (株) R&Dセンターライフサイエンス研究所 所長 田村 正明氏

③ 「スクアレン色素の合目的設計・合成と特性」

大阪府立大学大学院工学研究科 准教授 前田 壮志氏

第4回農工連携による波長変換資材の開発に関する公開シンポジウム～ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業の紹介～・1月11日・大阪府立学I-siteなんば [大阪府立大学と共催]

① 「今後の農業ビジネス方向性と環境制御技術への期待」

こもろ布引いちご園(株) 専務取締役 倉本 浩行氏

② 「トマト栽培における波長変換フィルムの効果」

大阪府立大学生命環境科学研究科 講師 古川 一氏

③ ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業「農工連携による波長変換資材の製品規格の構築と工業化事業の推進」の3年間の成果報告

大阪府立大学21世紀科学研究センター 特認教授 中澄 博行氏

第95回例会・1月30日・大阪科学技術センター（35名）

テーマ「高性能蛍光色素の研究開発動向」

① 「蛍光色材用蛍光顔料の特性と利用」

シンロイヒ (株) 技術部 副主任技術員 澤山 友博氏

② 「アクティブイタブル蛍光プローブの研究開発から実用化まで」

五稜化薬 (株) 製品開発部 シニアマネージャー 箕浦 逸史氏

③ 「超解像蛍光イメージングに向けた光スイッチ型蛍光色素の研究動向」

立教大学理学部化学科 教授 森本 正和氏

## 第7部会 (エレクトロニクス部会)

電子材料の新素材研究と学際領域の技術開発に関する研究会として例会 (学術講演会)、研修セミナー、公開講演会等および、部会機関誌 Electronics Communicationsを刊行した。

機能性色素・エレクトロニクス部会合同公開講演会・4月26日・大阪科学技術センター

[機能性色素部会と共催] [前出]

見学・研修セミナー@日東電工 (株) inovas・7月10日・日東電工(株)茨木事業所 (43名)

[機能性色素部会と共催] [前出]

第8回機能性色素および先端材料に関する東アジアシンポジウム[EAS-8]・9月20～22日・

CSIR-NIIST, Thiruvananthapuram, Kerala, INDIA [機能性色素部会と共催] [前出]

第1回研究会・12月13日・大阪科学技術センター (16名)

テーマ: 高分子材料に注目したエレクトロニクス関連技術

① 「フレキシブルエレクトロニクスを活用したIoTシステムの構築



～ご家庭内での脳のセルフケア、構造物ヘルスケアを実例に～

大阪大学名誉教授/大阪大学産業科学研究所 教授 関谷 毅氏

② 「電子デバイスの多様化に対応する実装材料技術の進展」

群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門 准教授 井上 雅博氏

③ 「メタロ超分子ポリマーのエレクトロクロミック特性と表示デバイス応用」

(国研) 物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 電子機能高分子グループ  
グループリーダー 樋口 昌芳氏

第2回研究会・2月7日・大阪科学技術センター (23名)

テーマ: 「高分子材料に注目したエレクトロニクス関連技術ー第2弾ー」

① 「有機薄膜太陽電池用高分子材料の開発」

広島大学大学院工学研究科 教授 尾坂 格氏

② 「機能性ナノ材料を用いた多機能テキスタイルデバイスの創成」

信州大学繊維学部化学・材料学科 教授 木村 睦氏

③ 「生物の身体デザインに着想を得た柔軟材料で創るソフト・ロボット」

東京大学大学院情報理工学系研究科 特任講師 梅舘 拓也氏

部会機関誌 Electronics Communications No.33刊行

### 第8部会 (コンピュータ化学部会)

物質のデザイン、生産工程のコントロール、人工知能開発研究に関する研究会として例会 (学術講演会)、公開講演会、公開セミナー等を実施した。

公開講演会 (第99回例会) ・6月23日・大阪科学技術センター (25名)

テーマ: マテリアルズインフォマティクスの最近の動向

① 「第一原理計算とベイズ統計に基づく新規物質探索」

北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教 本郷 研太氏

② 「マテリアルズ・インフォマティクスによるリチウムイオン電池の電解液材料探索」

(国研) 物質・材料研究機構 情報統合型探索研究分野 主任研究員 袖山 慶太郎氏

公開講演会 (第100回記念例会) ・10月27日・大阪科学技術センター (25名)

① 「d電子複合系の理論化学・計算化学: 現状と展望」

京都大学福井謙一記念研究センター シニアリサーチフェロー 榊 茂好氏

② 「化学における強い電子相関と密度行列繰り込み群に基づく高精度波動関数理論の開発」

京都大学大学院理学研究科化学専攻 特定准教授 倉重 佑輝氏

③ 「分子動力学シミュレーションによるアミロイド線維の形成過程と破壊過程」

自然科学研究機構分子科学研究所計算科学研究センター 准教授 奥村 久士氏

④ 「Time-Domain Quantum Chemistry」

京都大学福井謙一記念研究センター リサーチリーダー 高塚 和夫氏

公開講演会 (第101回例会) ・2月1日・大阪科学技術センター (15名)

テーマ: 「タンパク質-リガンドドッキング/自由エネルギー計算の最前線」

① 「リガンド・蛋白質構造変化を考慮した自由エネルギー計算法の開発と応用」

(国研) 理化学研究所 生命システム研究センター 尾嶋 拓氏

② 「マルチカノニカル分子動力学法によるタンパク質・リガンドのフレキシブルドッキング」

兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科 客員教授 神谷 成敏氏

③ 「溶媒和概念の普遍化に基づくソフト分子集合系の物質分配機能の解析」

大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 松林 伸幸氏

### 第9部会 (重合工学部会)

重合体製造プロセスに関する研究会として例会 (学術講演会)、重合プロセスの基礎講習会、重合工学レクチャーシリーズ、塩ビフォーラム等を実施した。

第1回例会・6月16日・大阪科学技術センター（19名）

①「ポリマー重合時に使用される消泡剤」

エボニックジャパン(株) セールスマネジャー 嶋田 臣志氏

②「乳化重合用機能性モノマー」

ソルベイ日華(株)応用開発研究部主任研究員 鶴見 知昭氏

重合プロセスの基礎講習会・10月26日～27日・日本薬学会長井記念館（30名）

①「高分子工業化学の基礎」

元大阪市立大学工学研究科 教授 圓藤紀代司氏

②「ポリマー製造プロセスの構成と単位操作」

日本ゼオン(株) 顧問 浅野 健治氏

③「重合機と反応速度」

大阪府立大学工学研究科 教授 安田 昌弘氏

④「微粒子生成の重合反応」

福井大学学術研究院工学系部門 准教授 鈴木 清氏

⑤「重合プロセスの操作設計」

神戸大学工学研究科 教授 大村 直人氏

⑥「重合反応装置の基本設計と事例紹介」

住友重機械プロセス機器(株)技術部攪拌技術グループ グループリーダー 竹中 克英氏

⑦「ポリマー分離工程における押出機の適応」

(株)日本製鋼所広島製作所樹脂製造機械部 木村 嘉隆氏

⑧「PVCものづくりの現状と将来—プロセスから製品化—」

元(株)カネカ 一色 実氏

第9回塩ビフォーラム・12月1日・住友不動産六甲ビル（59名）

①「次世代自動車に期待されるプラスチック」

大庭塾代表(元日産自動車(株)) 大庭 敏之氏

②「製品含有化学物質情報の新たな伝達スキームchemSHERPAについて」

一般社団法人産業環境管理協会 副部門長 佐竹 一基氏

同 アーティクルマネジメント推進協議会 主幹 菊池 英明氏

重合工学レクチャーシリーズNo. 5 ・1月17日・大阪科学技術センター（28名）

①「液体混合に関する研究の進め方」

鶴岡工業高等専門学校 校長 高橋 幸司氏

②「装置メーカーでの攪拌槽の設計について」

住友重機械プロセス機器(株) 堀口 洋郎氏

③「ポリマープロセスの反応槽の設計について」

(株)カネカ生産技術研究所 松村 邦彦氏

## 【学協会との連携及び合同事務局の運営事業】（共益事業4）

### 1. 学協会との連携及び合同事務局運営事業

一般社団法人近畿化学協会・公益社団法人日本化学会近畿支部・公益社団法人化学工学会関西支部・公益社団法人日本分析化学会近畿支部・公益社団法人有機合成化学協会関西支部の5法人で「合同事務局運営委員会」を組織して合同事務局の運営を行った。

### 2. 関連学協会行事協賛

化学分野の学術団体が主催する学術セミナー・学術講演会などの行事に協賛し、内容を会誌などで会員に周知した。会員が行事に参加する場合は各主催者で定めた割引費用で参加できる。

## 平成29年度事業報告の付属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。